



ブレード サーバの取り付け

この章は、次の項で構成されています。

- [ハーフ幅ブレード サーバの取り付け \(1 ページ\)](#)
- [サーバの構成 \(2 ページ\)](#)
- [電源ボタンを使用したブレード サーバの電源オフ \(3 ページ\)](#)
- [ブレード サーバの取り外し \(4 ページ\)](#)
- [サーバのトラブルシューティング \(5 ページ\)](#)

ハーフ幅ブレード サーバの取り付け

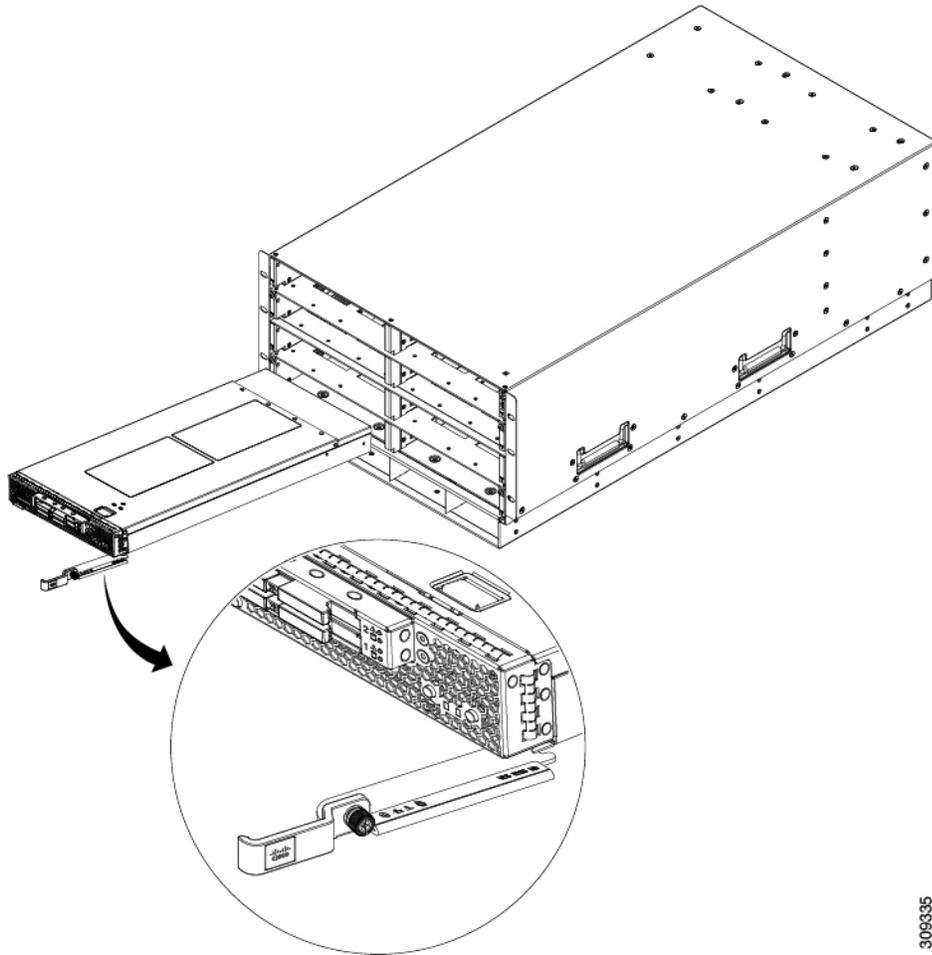
始める前に

十分なエアフローを確保するために、シャーシにサーバを取り付ける前に、ブレードサーバのカバーを取り付ける必要があります。

手順

ステップ 1 ブレードサーバの前の方を持ち、もう一方の手で下からブレードを支えます。

図 1: シャーシ内でのブレードサーバの位置



309335

- ステップ 2** ブレードサーバの前面にあるイジェクトレバーを開きます。
- ステップ 3** 開口部にブレードを差し込んでゆっくと奥まで押し込みます。
- ステップ 4** イジェクタを押してシャーシの端に固定し、ブレードサーバを完全に押し込みます。
- ステップ 5** ブレードの前面にある非脱落型ネジを $0.339\text{ N}\cdot\text{m}$ (3 インチポンド) 以下のトルクで締めます。指だけで締めれば、非脱落型ネジが外れたり破損したりする可能性は低くなります。
- サーバシャーシが UCS Manager によってすでに検出されている場合、ブレードは挿入されるたびに自動検出されます。

サーバの構成

Cisco UCS ブレードサーバは、次のいずれかの Cisco ツールを使用して設定し、管理できます。

Cisco Intersight の管理モード

Cisco UCS ブレードサーバは、Intersight 管理モード（Cisco Intersight 管理モード）の Cisco Intersight 管理プラットフォームを使用して設定し、管理できます。詳細については、次の URL にある『*Cisco Intersight Managed Mode Configuration Guide*』を参照してください。

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/Intersight/b_Intersight_Managed_Mode_Configuration_Guide.html

Cisco UCS Manager

Cisco UCS ブレードサーバは、Cisco UCS Manager を使用して設定および管理する必要があります。詳細については、使用しているバージョンの Cisco UCS Manager の構成ガイド設定ガイドは、次の URL で入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html を参照してください。

電源ボタンを使用したブレードサーバの電源オフ



- (注) シャットダウンの前には、UCS 管理ソフトウェアインターフェイスを通してサーバがデコミッションされることを確認するため、デフォルトで前面パネル電源ボタンは無効になります。ボタンでローカルにサーバをシャットダウンする場合は、UCS 管理ソフトウェアインターフェイスで前面の電源ボタン制御を有効にできます。



- ヒント UCS 管理ソフトウェアインターフェイスを使用して、サーバをリモートでシャットダウンすることもできます。詳細については、使用している Cisco UCS 管理ソフトウェアインターフェイスのバージョンのコンフィギュレーションガイドを参照してください。コンフィギュレーションガイドは、[サーバの構成 \(2 ページ\)](#) に記載されている URL から入手できます。

手順

- ステップ 1** サーバをローカルで使用している場合には、電源オフするシャーシ内の各サーバの電源ステータス LED の色を確認します。
- ・グリーンは、サーバが動作していて、安全に電源オフするにはシャットダウンする必要があります。ステップ 2 に進みます。
 - ・オレンジは、サーバがスタンバイモードになっており、安全に電源オフできることを示します。ステップ 3 に進みます。

ステップ2 以前に UCS 管理ソフトウェア インターフェイスを使用して前面の電源ボタン コントロールを有効にしていた場合には、電源 ボタンを押してから離し、電源ステータス LED がオレンジ色に変化するのを待ちます。

オペレーティング システムがグレースフル シャットダウンを実行、し、サーバはスタンバイモードになります。

注意 データの損失やオペレーティング システムへの損傷が発生しないようにするために、必ずオペレーティング システムのグレースフル シャットダウンを実行するようにしてください。

ステップ3 (オプション) 特別に推奨してはありますが、シャーシ内のすべてのブレードサーバをシャットダウンするときは、サーバの電源を完全にオフにするために、電源コードをシャーシから外すことができます。

注意 データの損失やオペレーティング システムへの損傷が発生しないようにするために、必ずオペレーティング システムのグレースフル シャットダウンを実行するようにしてください。

ブレードサーバの電源がダウンします必要に応じてブレードで追加のタスクを実行できます (例: ブレードの交換)。

ブレードサーバの取り外し

サーバを取り外す前に、UCS 管理ソフトウェア インターフェイスを使用してサーバを停止します。シャーシからブレードサーバを取り外すには、次の手順に従います。

手順

ステップ1 ブレードの前面にある非脱落型ネジを緩めます。

ステップ2 ブレードのイジェクト レバーを引いてブレードサーバの固定を解除し、シャーシからブレードを取り外します。

ステップ3 ブレードをシャーシから途中まで引き出し、もう一方の手で下からブレードの重量を支えます。

ステップ4 完全に取り外した後、取り外したブレードをすぐに別のスロットに取り付け直さない場合は、静電気防止用マットまたは静電気防止用フォームの上にブレードを置きます。

ステップ5 スロットを空のままにする場合は、適切な温度を維持し、シャーシにほこりが入らないようにブランクの前面プレート (N20-CBLKB1) を取り付けます。

サーバのトラブルシューティング

全般的なトラブルシューティングの情報については、『[Cisco UCS Manager Troubleshooting Reference Guide](#)』を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。